

パオちゃん's EYE

2020年11月1日 発行 No.44

ヒョウモンモドキ



ヒョウモンモドキ，1956年6月22日，新見市産。

倉敷市立自然史博物館には415頭のヒョウモンモドキ（タテハチョウ科）の登録標本が保管されています。最近寄贈されたコレクションの標本はまだ登録できていませんから、実際の収蔵数はさらに増えます。「なんだ、たくさんいるチョウだね」と思われるかもしれませんが、環境省は2011年からこのチョウを保護ランクの一番高い国内希少野生動植物種に指定し、採集や飼育、標本の譲渡等を原則禁止しています。当館の収蔵標本のうち、岡山県産の標本は39頭ありますが、最も古いものが1956年の採集品（写真）、最も新しいものが1994年の採集品です。チョウ類研究者らの綿密な探索にもかかわらず、その後、県内で生息を確認することができず、『岡山県版レッドデータブック2020』（2020年3月発行、県立図書館や県のホームページで閲覧可）では、ついに「絶滅」の判定がなされました。

お隣の広島県では、現在もわずかな生息地が知られ、地域住民らによる保護活動がなされています。

奥島雄一（昆虫担当）

パオちゃんズアイに関するお問い合わせは

倉敷市立自然史博物館

〒710-0046 岡山県倉敷市中央2-6-1

電話:(086)425-6037 FAX:(086)425-6038

E-mail:musnat@city.kurashiki.okayama.jp

博物館ホームページには
いろんな情報がいっぱい♪
「倉敷市立自然史博物館」で
検索してみよう！ パオより

